

ワークショップ

小児漏斗胸にSCE有用



湘南鎌倉総合病院(神奈川県)
深井隆太
・呼吸器外科部長

「小児漏斗胸ろうとせきように対する胸きよう肋ろく拳せき上じやう術じゆつ」をテーマに講演。胸郭きょうかくが陥凹した状態を漏斗胸と呼ぶ。治療法は、胸骨の裏側に金属製のバーを入れて矯正するNussナッス法など複数の術式があるが、同院では異物を使用しない胸肋拳上術(SCE)を実施。肋軟骨ろくなんこつを切除し胸骨に再縫合することで胸郭を矯正すること。手術動画を供覧しながらポイントを解説し、同院での手術成績に言及。「SCEは胸郭の矯正度、周術期および退院後の経過が良好であり、小児漏斗胸手術として有用と思われます」とまとめた。

一般演題

SCE変法で良好な成績



湘南鎌倉総合病院
飯田浩司
・胸壁外科部長

「侵襲が少ない漏斗胸手術306例の経験」と題して発表。飯田部長は肋軟骨の一部を切除して再縫合する胸肋拳上術(SCE)を改良したSCE2〜5までの変法を考案、実施。これまで異物を留置せず幅広い年齢に施行可能な漏斗胸手術に取り組んできた。1993年から2014年に実施した303例の結果をふまえ「SCE変法は重篤な合併症がなく、入院期間や活動を制限する期間が短く、疼痛とうつうが遷延せんえんせず、広い年齢に施行可能な侵襲が少ない手術と考えます」と結んだ。